

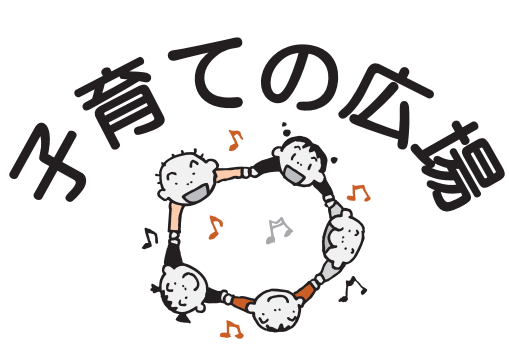


まちの 子育て支援策を考える 保健センター編②

町では、少子化対策としてさまざまな事業を実施しています。子育て世代への精神的な支えや遊びの場を提供することを目的として毎月実施している子育て支援活動をはじめとして、病氣予防を目的とした予防接種費用の助成などがあります。

今回は、保健センターが行うさまざまな事業のうち、子育て支援事業について紹介します。

■問い合わせ先
保健センター
☎46-5571



☆みんなの広場☆

9月10日、子育て講演会を開催しました。講師を務めた奥州市在住の吉田智子さんが「子育ての土台は今、早起き早寝はなぜ大切」と題して講演。

当日は5組の親子の参加があり、講師も一緒に床に座り、子どもが床を這って側に来ると、ほほみかけながら子どもを撫でて「良い子だね」と、頭を撫でたり抱っこしていました。子どもにはたくさん話しかけてあげましょう。オムツ交換をする時に肌を撫でてあげることも大切です。小さい時からの触れ合いの大切さを話していました。またハイハイの重要性について「ハイハイをすることにより、背中や腕、足腰が鍛えら



触れ合いの大切さを学びました

れ背筋のバランスが取れるため、歩き始める前にとっても良いことなのよ」と優しく説明していました。

睡眠については「睡眠時間は成長ホルモンなどが分泌される大切な時間なので、午後8時を目標にできるだけ早寝を心掛けてみましょう」とのお話でした。

10月の予定

- ◎園開放日(園庭・園舎)
▽子育て支援センター
毎週月・水・金曜日
- ▽長島保育所 毎週水曜日
- ◎みんなの広場
園庭で遊ぼう 8日(木)
- ※雨天時は室内に変更します
- ◎のびのびクラブ
体を動かす遊び 20日(火)
- ※運動会ごっこで楽しみます
- ◎給食試食会 27日(火)
- 問い合わせ先
子育て支援センター
(平泉保育所内) ☎46-2767

「3」広場・9カ月児相談

乳児を持つ母親同士の交流の場を提供し、育児不安の解消を図ることと子育てに関する情報提供をしています。

■対象：1歳未満の乳児とその保護者、家族

■内容：身体計測、個別相談、離乳食や歯科保健、予防接種などの健康教育、親子でのふれあい遊び。レジョビ広場に合わせて、9カ月の児童には、歯科衛生士による歯科指導、町立図書館の協力で絵本の読み聞かせや絵本のプレゼントをしています。

年中児教室

3歳6カ月児健診後の子どもたちの発達確認と保護者、幼児施設と子どもの様子を共有することにより、健やかな成長を促すために行っています。

おひさま教室(幼児療育教室)

言葉や対人面など育ちのお手伝いが必要な幼児を対象に、保育士・保健師・相談支援事業所の相談員が個別指導や少人数での集団活動を行い、子どもの発達を促すことや、保護者がお子さんに接する時の対応方法などを学びます。現在3つのクラスに分けて月2回開催しています。

おたふくかせ 任意予防接種費用の一部助成

おたふくかせとは、ムンプスウイルスによって起こる感染症で、流行性耳下腺炎とも言います。おたふくかせは軽症の場合が多いのですが、重い合併症を引き起こすことがあります。合併症として、無菌性髄膜炎、難聴、脳炎、男性では睾丸炎などがあります。

■対象：町内に住所を有する1歳から2歳に至るまでの人(2歳の誕生日の前日までの人)

■助成内容：接種1回に限り、接種料金のうち4000円を助成します。差額は自己負担となります。ただし生活保護世帯および非課税世帯は全額助成となります。印鑑を持参の上、保健センターに事前申請してください。

■接種方法：予防接種委託医療機関に直接予約の上、接種します。予防票兼接種券は医療機関の窓口で発行します。接種の際には母子健康手帳を持参ください。

■健康被害救済制度
おたふくかせ予防接種は任意接種のため、予防接種と因果関係が認められる健康被害があった場合は、町予防接種事故災害補償規定や法に基づき救済が行われます。

成人風しん予防接種(任意予防接種)費用の一部助成

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気になるなどの「先天性風しん症候群」という病気がかかってしまうことがあります。

■対象：町内に住所を有する昭和41年4月2日から平成8年4月1日生まれの人(平成27年度中に20歳49歳の人)

■実施期間：平成27年4月1日から28年3月31日

■実施場所：予防接種委託医療機関

■助成内容
▽風しん(単抗原) 3000円
▽麻しん風しん混合(MR) 4700円

生活保護世帯は全額助成となります。印鑑を持参の上、保健センターに事前申請してください。

■接種方法：予防接種委託医療機関に事前予約し、医療機関の窓口にて成人風しん、麻しん混合個別予防接種予約票兼接種券が記入されますので、必要事項を記入し接種を受けてください。なお接種後は、少なくとも2カ月の避妊が必要です。

平泉町の 投票率は59.96%

県議会議員選挙

県議会議員選挙の投票が9月6日に町内9投票所で行われ、午後8時から町役場で即日開票されました。

町全体の投票率は59.96%となり、前回の県議選の投票率(68.21%)より8.25ポイント下がりました。

投票所ごとの最高は、第3投票所(4区ふれあいセンター)で、70.16%でした。

候補者氏名	得票数(票)
千葉 進	281
飯沢 匡	241
佐々木 朋和	760
高田 一郎	714
岩淵 誠	809
神崎 浩之	1160

開票結果(平泉町分)

投票結果(平成27年9月6日執行)

投票区	選挙当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
1	506	306	60.47
2	227	148	65.20
3	258	181	70.16
4	711	365	51.34
5	1,216	643	52.88
6	1,791	1,117	62.37
7	727	458	63.00
8	691	413	59.77
9	576	388	67.36
計	6,703	4,019	59.96

※投票者数は期日前・不在者投票を含む

まちの話題

黄金メロン研究会の高橋正洋会長(13区)が「平泉」と「祝岩手国体」の網目模様が入った「黄金メロン」を栽培しました。このうち、来年の希望郷いわて国体に向けて栽培された「祝岩手国体」黄金メロンは、県南広域振興局へ寄贈しました。高橋会長は「メロンで国体のPRと、多くの人に平泉のメロンを知ってほしい」と話していました。この黄金メロンは、岩手国体のPR映像などに活用されます。



寄贈された黄金メロン